

さわらび

2021. 1. 26 No. 32 文責：大塚

「違い」を楽しむ力 国際協力は特別なことじゃない



1月23日(土)、人権教育参観日を行いました。テーマはSDGsで国連の示す「持続可能な開発目標」についてです。具体的には、「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」「安全な水とトイレを世界中に」などで、17個の目標があります。

講師は、国際協力団体「セカンドハンド」の林香子さん。青年海外協力隊として南アメリカのエクアドルで2年間活動された経験をもとにした話やワークショップを行いました。林さんからのSDGsの説明の後、新聞を使って生徒・保護者・教員でSDGsにかかわる記事を探し合いました。その後、エクアドルの子どもたちが自国の課題として考えていることを聞き、より広い視野で、よりよい未来について考えることになりました。

【生徒の感想／抜粋】

- 授業の終わりには、これからの生活や将来についても考えて、2030年までに自分はどんなことをしたいのか、SDGsにどう関わっていきけるかなども考え、自分の夢について考えるきっかけになったのではないかと思います。
- 今回の人権参観日の前に、SDGsとは何かや具体的に取り上げている目標等を見て学んだときに、日本は意外と達成できていないこともあってかなりショックでした。
- 2つめの活動は、エクアドルの子どもたちが考えた「エクアドルが抱える問題」について考えました。人身売買や犯罪、学校にゴミがあるなど様々な問題がありました。1個ずつみんなで共有できたのでよかったです。僕がもしエクアドルの中学生だったら、貧富の差をなくすのを一番はじめに取り組んで欲しいと思います。貧富の差がなくなると、みんなが平等になり、いくつかの問題がいっきに解決できると思ったからです。

親子レク「ポッチャ」と「絵しりとり」

1月23日(土)の4校時目は、親子レク。「絵しりとり」では大いに笑い、「ポッチャ」では笑いあり真剣な表情ありの楽しいひとときとなりました。

※ポッチャは、6世紀のイタリアで現在の原型が生まれた、パラリンピックの正式種目です。



白鷺中とのリモート交流

1月20日(水)の放課後、大阪市立白鷺中学校の防災ALTの中学生とZoomを使ってのリモート交流を行いました。

平成31年4月、修学旅行での防災学習(兵庫県立舞子高校)で教員同士が知り合い、「はるかのひまわり」つながりで交流がスタートしました。その後、生徒同士が手紙や写真でお互いの取組の様子を交流してきました。また、お互いの「はるかのひまわり」の種を交換してそれぞれの学校で咲かせてきました。

今回、念願のリモートでの交流が実現しました。自己紹介からスタートして、本校の「藤岡マップ」の紹介と質疑応答、最後はゲームで交流して楽しい時間となりました。

全校生徒3名の本校と全校生徒600名以上の大阪市の中学校。違いを豊かさに感じられる楽しい交流は、2月にも行う予定です。



石垣現地調査スタート

「藤岡マップ」の続きとして、郷土博物館での企画展「四万十風景ことはじめ展」の準備を進めています。1月13日(水)の午後、講師の川村さん(市生涯学習課)と一緒に現地調査の1回目を行いました。

次回は、2月6日(土)8:30からの予定です。見かけたら声を掛けてください。



四万十市観光協会の皆さんから年賀状が届きました。年末に美術の時間で版画をして、「藤岡マップ」等でお世話になった方々に生徒が出していましたが、その返信です。『藤岡マップ 大好評です!』の言葉もあります。

また、この他、お世話になった皆さんからも、続々と返信やお言葉をいただきました。ありがとうございました。